

# こんにちは 議会です!!



## 大瀧神社大蛇ヶ淵の紅葉



増田 辰也 氏 提供

- |               |         |                  |         |
|---------------|---------|------------------|---------|
| • 決算特別委員会     | ..... 2 | • 産業建設常任委員会      | ..... 8 |
| • 9月定例会       | ..... 4 | • 子ども議会          | ..... 9 |
| • 議員定数削減      | ..... 5 | • 町政を問う(9人が一般質問) | .....13 |
| • 予算特別委員会・臨時会 | ... 6   | • 意見交換会          | .....18 |
| • 総務常任委員会     | ..... 7 | • 地域おこし協力隊       | .....20 |

# 令和3年度の事業を審査

## 今年度も続いたコロナ禍

### 歳入(税収)に応じた歳出決算

主な歳出決算額 (目的別)

単位: 万円

項目	金額	増減	比率%	項目	金額	増減	比率%
総務費	5億3369	▲8億2079	9.9	消防費	1億8355	1553	3.4
民生費	16億7218	2億7713	31.0	衛生費	4億6174	9555	8.6
農林水産業費	2億8128	▲6866	5.2	商工費	4274	▲692	0.8
土木費	5億1424	▲983	9.5	教育費	6億8410	▲1億763	12.7
諸支出金	4億2822	3億1880	7.9	公債費	5億1494	3280	9.6

行政事務・防災

空き家対策事業	4件
凍結防止剤散布車更新事業	
萱原地区急傾斜地崩壊対策事業	
ふるさと納税事業	786件 1786万円
OCRシステム運用事業	
電子入札システム使用料	
災害復旧事業 (8月14日豪雨災害)	518万円
消防積載車・ハザードマップ更新・被災住宅緊急支援除雪対策事業	
若者の新規住宅取得、多世代同居の増改築固定資産税を助成	
マイナンバーカード発行数	959人
住宅リフォーム促進事業補助	35件 587万円

まちづくり・保全

消防費	消防団56人・各字自警団32・婦人消防隊3
大滝地域活性化支援委託費	
農村まるごと保全向上対策事業	14団体 1112万円
集落獣害自営組織育成、小規模農地獣害対策補助	
中山間地域等直接支払制度	4組織 427万円
中山間地域農業用機械等導入支援事業	7件 1400万円
コロナ感染症対策農業者緊急支援交付金	151軒 1000万円
がんばる商店応援補助金	2件 377万円
地図情報システム構築事業	
まちづくり活動支援金	37集落
土地改良事業対策	
芹川ダム耐震工事、犬上川ダム施設更新工事	
放置林境界明確化事業	佐目・入谷・南後谷区で実施
有害鳥獣駆除事業	
捕獲シカ44、イノシシ5、サル9頭	
里山防災整備事業	多賀区、四手区で実施
観光協会振興支援交付金	200万円
災害備蓄品整備	パン缶詰1334食ほか購入

教育・生涯学習

放課後児童クラブ建設事業	
認定子ども園建設費、実施設計と用地取得	
GIGAスクール構想事業 (ICT支援員設置費)	
敏満寺石仏谷墓跡保存整備事業	
町指定文化財修理等補助金	
民間保育所施設 (なつめ保育園) 型給付費	
施設面	
多賀小学校 … プールサイド床改修、自動火災報知設備更新	
大滝小学校 … 図書室の空調、電話交換機更新	
多賀中学校 … テニスコート改修、計画的な音楽備品調達	
図書館・博物館入館者	10474人
個人貸出点数	102078点
あけぼのパーク 屋内設備、修繕など	
青少年育成事業 春秋のあいさつ・新成人のつどい	
人権教育推進事業	
Zoom活用した人権教育推進リーダー研修会開催	
生涯学習推進事業	
出前講座を25回開催し情報を提供	

福祉・健康づくり

住民税非課税世帯臨時特別給付金事業	503世帯
ふれあいの郷空調設備更新事業	
子育て世帯臨時特別給付金 (10万円) 支給者	707人
ワクチン接種対策事業	総額7043万円
コロナ感染症福祉事業所給付金	10事業所
長寿祝い金事業	95歳10人、100歳1人
在宅障害者支援	各施設で就労支援など相談事業、ガソリン費補助
児童福祉費	出産奨励祝金第3子15人、第4子以降3人に支給
子育て支援費 (育児用品補助)	256人
低所得者の子育て世帯に対する	
子育て世帯生活支援特別支援金 (ひとり親世帯分)	支給者46人 (支給対象児童数81人)
予防接種事業	子宮頸がん 22人
	高齢者インフルエンザ 1926人
	高齢者肺炎球菌予防接種 61人
特定不妊治療助成	
人工授精治療助成	

# 令和3年度の決算を審査

**歳入 56億9370万円** 前年比 2.5億円減 ▲4.2%

**歳出 53億9103万円** 前年比 2.7億円減 ▲4.8%

**実質収支 ▶▶ 2億3996万円**  
(歳入-歳出-繰越財源) (4年度に繰り越されます)

財源の構成は

	(万円)
<b>自主財源 (42.0%)</b>	
町税	16億8525
分担金・負担金	2905
使用料・手数料	890
財産収入	389
寄附金	2125
繰入金	3095
繰越金	2億8460
諸収入	3億2951
<b>合計</b>	<b>23億9340</b>
<b>依存財源 (58.0%)</b>	
地方交付税	15億1478
国庫支出金	7億5494
地方譲与税	6370
地方特例交付金	3150
県支出金	2億3920
地方消費税交付金	1億9564
法人事業税交付金	6158
自動車税環境性能割付金	566
町債	4億1960
その他	1368
<b>合計</b>	<b>33億28</b>

町税収入の内訳は

	(万円)
住民税	5億4776
内(個人住民税)	3億3496
訳(法人住民税)	2億1280
固定資産税	10億5147
軽自動車税	3163
たばこ税	5310
鉱産税	130
<b>合計</b>	<b>16億8526</b>

基金の残高は(3年度末)

	(万円)
財政調整基金	14億8477
減債基金	6038
社会福祉基金	8082
公共施設等維持管理基金	1億1841
まちづくり基金	1794
土地開発基金	4318
ふるさと水と土の保全基金	3200
<b>合計</b>	<b>18億3750</b>

町債の残高は

	(万円)
公共事業等債	9億2542
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業	8億8838
災害復旧事業債	3043
教育・福祉施設等整備事業債	6億787
一般単独事業債	8億8838
その他の地方債	26億2359
<b>合計</b>	<b>51億7420</b>

# 9月定例会

9%  
9/30

発委(第1号)

9月定例会は、3年度決算、同意5件、報告1件、議案6件、認定12件、発議1件、請願2件を審議した。追加案件発委1件、議案1件。

### 同意

①多賀町教育長の任命について  
再任 山中 健一氏

②多賀町教育委員会委員の任命について  
新任 豊原 真人氏

③多賀町多賀財産区管理委員の選任について  
再任 桂 善蔵氏  
新任 夏原 宏和氏  
近藤 敏昭氏

### 報告

①3年度多賀町の財政の

健全財政を維持	
赤字	なし
実質公債費比率	7.3%
将来負担比率	22.3%
資金不足比率	なし

健全化判断比率および資金不足比率の報告

### 議案

①町職員の育児休業等に関する条例の一部改正  
可決

②多賀町福祉医療費助成条例一部の改正  
可決

③多賀町老人福祉医療費助成条例一部の改正  
可決

### 補正予算

④4年度一般会計補正予算(第4号)  
可決

歳入歳出の予算の総額に

それぞれ1億2403万円を追加し、歳入歳出それぞれ60億7204万円とする。

### 認定

⑤4年度多賀町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
可決

⑥4年度多賀町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)  
可決

### 認定

①3年度多賀町一般会計歳入歳出決算の認定  
(決算特別委員会で審査)

②3年度多賀町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

③3年度多賀町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

④3年度多賀町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定

### 認定

⑤3年度多賀町育英事業特別会計歳入歳出決算の認定  
(②③⑤総務常任委員会)で審査)

⑥3年度多賀町多賀財産区管理会別会計歳入歳出決算の認定  
可決

⑦3年度多賀町大滝財産区管理会別会計歳入歳出決算の認定  
可決

⑧3年度多賀町霊仙財産区管理会別会計歳入歳出決算の認定  
可決

⑨3年度びわ湖東部中核工業団地公共緑地維持管理別会計歳入歳出決算の認定

⑩3年度多賀町農業集落排水事業別会計歳入歳出決算の認定

⑪多賀町水道会計の利益の処分および3年度決算の認定

### 議案

⑫3年度多賀町下水道事業会計決算の認定  
(⑨⑩⑫産業建設常任委員会)で審査)

### 発議(第3号)

①多賀町議会の議員定数を定める条例の一部を改訂する条例について  
賛成多数 可決

詳細は5ページ参照

### 請願(第4・5号)

①ゴミの抜本的な減量計画の策定を求める請願  
(産業建設常任委員会で審査)

②高齢者の補聴器購入町補助金を求める請願  
(総務常任委員会で審査)

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書  
川添議員 提出  
可決

4年度多賀町一般会計補正予算(第5号)  
歳入歳出それぞれに3億995万円を追加し、歳入歳出それぞれに61億895万円とする。

### 歳入

国庫負担金 513万円  
繰越金 170万円  
雑入 23万円  
歳入 691万円

### 歳出

微税費 170万円  
保健衛生費 3521万円  
町税過年度還付金 170万円  
可決

## 討論

**議員定数削減に反対します。(山口)**  
二元代表制の下、地方議員は、多様な住民要求を把握し、住民の様々な要求を行政に反映させるとともに、住民目線で行政をチェックする重要な役割があります。具体的な政策の最終決定・行財政運営の批判と監視を達成できるように努力することが議員の職責であるとしています。

**議員定数削減に賛成します(川添)**  
平成23年に議会改革に関する企画書を作成、ワークシート(研究・討議)を重ね、まず議員定数から検討を始め、議会基本条例、議会運営のあり方など全25項目を研究、成果を全議員が共有することができました。平成24年の町議会議員選挙が無投票の結果になり、

**議員定数削減に反対します。(菅森)**  
定数問題は平成23年から幾度も議論審議され、平成28年と30年では現状維持が大半であった。2年度から再度議論され現状維持が3人、多いが6人、その他3人。削減理由として定数が多いと聞く、人口規模に対し10人でよいなど根拠があまりないで、地域性などの実情を踏まえ現状維持が望ましいと委員長報告されている。方向性として本町は3つの谷に分かれ、平たん地、山間地域に分かれ、地域によって問題課題も異なるこ

**議員定数削減に賛成します。(竹内)**  
私は今回提出されました議員定数の削減は、私も多くの町民の皆さまからの声をいただいており、定数削減においては長年にわたり今日まで議論を重ねてまい

住民の意向を尊重し、多賀町の人口規模に合わせた議員定数の見直しについて全面的に否定するものではありませんが、多賀町の地理的条件や人口の偏在等を考慮することが必要です。議会監視機能を低下させず、2つの常任委員会で活発な討議ができる議員数の確保に鑑みて、現在の議員数を確保することが妥当であると考えます。

町民の皆さまから議員定数削減の声が上がりました。人口減少地域からの声が吸い上げられないと言われておりますが、議員は、多賀町全体の問題を考える議決機関であり地域代表ではありません。これ以上の先延ばすことになれば町民の皆さまからいつ見放されるかわかりません。

とから幅広く住民の意見を反映するには、現状維持が望ましいと考えます。  
定数削減によりチェック機能の低下・議員の偏りが生じ少数で物事が決まっていく危険性も残る。多賀町議会基本条例では「議員定数・議員報酬を改正する場合、町民の意見を聞くとともに明確な改正理由を付さなければならぬ」と明記されている。条例に反すること、調査、聞き取りが不十分で削減理由があいまいなまま賛成はできない。

りました。議員定数のほかに報酬や議員のなり手不足、議会改革の課題として、まだまだ多くの課題がある。町発展に熱い思いを持つ町民が参加しやすい議会にしていくためにもスリム化が必要。

# 議員の定数を2削減 現行の12人を10人とする

## 議員発議 第3号

(議長は採決には参加しない)

多賀町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例(5年1月1日施行)

【提出者】大橋・近藤 【賛成者】川添・竹内・富永

### 【提案理由の内容】

議会定数は、昭和43年に20人→12人に削減された。その当時の人口は9,300人であった。その後人口減少が続き4年8月末の人口は7,500人で54年の間に1,800人減少している。議員定数を定めるうえで、人口は大きな要素である。

また、平成23年から継続し検討している議会改革特別委員会で、定数の現状維持から削減へ推移しているのも事実である。併せて議会基本条例において、議員は町民の意見、要望などを的確に把握し町民の代表として活動しなければならないとあることから、先延ばしせず定数を改正するものである。

採決の結果 賛成：7(大橋・川添・富永・竹内・川岸・近藤・神細工) 反対：4(山口・菅森・木下・清水)

予算特別委員会 (補正) 1/6

4年度多賀町一般会計補正予算(第4号)

1億2403万円追加 総額 60億7204万円に

Table with 2 columns: 歳入 (万円) and 歳出 (万円). Rows include 地方特例交付金, 地方交付税, 負担金, etc.

Table with 2 columns: 歳出 (万円) and 歳入 (万円). Rows include 総務管理費, 社会福祉費, 児童福祉費, etc.

総務常任委員会 9/14

3年度 認定4件・ 請願1件を審査

国民健康保険特別会計 決算の認定について

歳入 8億9893万円 歳出 8億3148万円 加入世帯 1200世帯 1605人

後期高齢者医療事業 特別会計決算の認定について

歳入 1億1105万円 歳出 1億934万円 加入者 1336人

介護保険事業特別会計 決算の認定について

歳入 8億6234万円 歳出 8億1458万円 差引残額 4775万円

多賀町育英事業特別会計 歳入歳出決算の認定について

歳入 311万円 歳出 311万円 高校生 年額8万4000円

請願(第5号)

高齢者の補聴器購入町補助制度を求める請願

犬上生活と健康を守る会 西澤 義雄 加齢による難聴は誰しも起こり、コミュニケーションが図りづらく、孤独感疎外感を感じ、家に閉じこもり家族とも話したがない傾向がみられ



委員会報告

主な歳入 交付税 5594万円 SIC・保育園関係 4640万円

獣害・農業補助金 500万円 繰越金 4363万円

基金繰入金 940万円 こども園建設入札差金 4060万円

臨財政費 1987万円 グリーンヒル小型消防ポンプ 220万円

町債減額 1917万円

粗大ごみ収集費 1059万円 物価高騰対策費 227万円

獣害対策費 229万円 大型農機購入補助金 190万円

林道補修費 80万円 住宅リフォーム 77万円

各種除雪費 569万円 除雪メールサーバー新設 262万円

町道補修 136万円 中川原工業団地樹木伐採 215万円

SIC関係(敏満寺区へ交付金5000万円含む) 合計1億4600万円

教育委員会所管 広域保育費 607万円 こども園備品購入費 2475万円

たきのみやこども園電灯LED化 248万円 エアコン修理 387万円

中学ネット新設 76万円

3回臨時会 7/26

4年度多賀町一般会計補正予算(第3号)

歳入 歳入歳出それぞれに6468万円を追加し、歳入歳出それぞれを59億4800万円とする。

歳入 歳入歳出それぞれに6468万円を追加し、歳入歳出それぞれを59億4800万円とする。

歳入 歳入歳出それぞれに6468万円を追加し、歳入歳出それぞれを59億4800万円とする。

歳入 歳入歳出それぞれに6468万円を追加し、歳入歳出それぞれを59億4800万円とする。

歳入 歳入歳出それぞれに6468万円を追加し、歳入歳出それぞれを59億4800万円とする。

歳入 歳入歳出それぞれに6468万円を追加し、歳入歳出それぞれを59億4800万円とする。

歳入 歳入歳出それぞれに6468万円を追加し、歳入歳出それぞれを59億4800万円とする。

歳入 歳入歳出それぞれに6468万円を追加し、歳入歳出それぞれを59億4800万円とする。

歳入 歳入歳出それぞれに6468万円を追加し、歳入歳出それぞれを59億4800万円とする。

歳入 歳入歳出それぞれに6468万円を追加し、歳入歳出それぞれを59億4800万円とする。

歳入 歳入歳出それぞれに6468万円を追加し、歳入歳出それぞれを59億4800万円とする。

閉会中の調査 7/12

福祉保健課所管 新型コロナウイルス ワクチン接種(第4回目)について

3回目接種完了から5カ月以上経過した ①60歳以上 ②基礎疾患を有する18歳以上60歳未満接種期間

介護保険事業 給付費総額7億2046万円

町が運営主体で40歳以上が加入。40歳から64歳2170人、65歳以上2514人。要支援・要介護認定者355人(14.3%) 滋賀県下で低い認定率。

社会福祉協議会・民生委員・児童委員との連携について 民生委員児童委員協議

会・福祉保健課・社会福祉協議会が出席し、情報交換研修を月1回開催。生活保護世帯・生活困窮者への対応として聞き取り見回りを行い対応している。

ヤングケアラーについて 理解が十分でないため、正しく理解し見逃すことなく、必要な支援につなげるよう研修会を計画。

障がい者自立支援について 自立支援給付と地域生活支援事業に大別。3年度利用状況は、1カ月あたり居宅介護15人・生活介護20人・就労継続支援B型17人。

町独自の事業として、4年度から療育手帳B判定を受けている方、その家族が支払った軽自動車税または自動車税相当額

児童手当について 中学校卒業までが対象 3年度615人。

出産奨励金について 第3子5万円・第4子以降10万円。3年度、第3子15人・第4子3人。

各種がん検診・予防接種について 胃がん280人、子宮頸がん301人、乳がん250人、大腸がん529人、肺がん380人受診。

予防接種は、ヒブワクチン、小児肺炎球菌、B型肝炎、4種混合、日本脳炎、ロタウイルス、結核、風疹混合、水痘、季節性インフルエンザなど実施している。

# 産業建設常任委員会

9/15

# 閉会中の調査

7/19

3年度 特別会計事業の決算3件、請願1件を審査

びわ湖東部中核工業団地公共緑地維持管理特別会計決算の認定

基金残高は、2年度末3億4200万円から545万円を取り崩し、3年度工業団地緑地維持管理に充当。  
3年度末現在基金残高 3億3668万円



除草作業

農業集落排水事業特別会計決算の認定

人口減少による収入の減少、更には経年劣化による施設の維持費の増加と厳しい財政運営ではある中、農業集落排水施設機能保全計画および農業集落排水事業最適化構想に基づき、健全な経営に努めたい。  
3年度末地方債残高 3億3137万円

水道事業会計の利益の処分および決算の認定

企業債償還の据え置き期間が終了するとともに元金償還額は増加するため、より一層事務の効率化、コストの削減に努めたい。  
3年度末企業債残高 26億9848万円

下水道事業特別会計決算の認定

公共下水道事業は、平成元年に事業着手して以来、当初予定した19集落全ての面整備事業が平成20年度で完了。  
現在、神田地区を加え21集落。4年3月末での水洗化率は95・6%。  
3年度末企業債残高 23億1099万円

請願(第4号)

ごみの抜本的な減量計画の策定を求める請願

多賀町が「ごみの資源化」をすすめる「2030年までにゴミを半減する」などの抜本的なごみ減量計画を立てること。採択すべきとすることに決定

産業環境課所管

① 今後の林業のあり方  
② 観光行政について  
事務調査をしました

② 放置林防止対策境界明確化事業。

③ 林業基盤の整備として、林道整備事業、造林事業の実施。  
④ 間伐等森林整備の推進として、搬出間伐実地や森林整備支援事業として大滝山林組合への補助。

観光行政の課題

多賀町における観光は、情報発信はされているが、各団体や施設との情報共有の不足、WiFi環境の整備の遅れ、地域資源を活用したツアーの参加が少ない、新たな地域資源の周知、観光ボランティアガイドの育成などの課題がある。

観光の取り組み

- ① 観光情報の発信強化として、効果的なPR。
- ② 快適な周遊、滞在期間。
- ③ 誘客の促進。
- ④ 地域資源を生かした観光ネットワークの強化。
- ⑤ 観光ガイドの人材・団体の育成。
- ⑥ 多賀エココミュニケーション構想の推進等。

林業行政の取り組み

① 森林境界明確化とし、佐目区、南後谷区、入谷区にて実施。

⑧ 森林、林業、木材産業に関する普及啓発として、森林学習事業、地方再生事業など。当日は大滝警報により原木流通土場の現地視察は中止しました。

# 9月子ども議会

## 10人が質問

# 子ども議員

# 町づくりを問う

## 質問事項 ページ

- **川村 彌高**さん(大滝小6年)……………10  
◎大滝小学校の存続について
- **岸本 唯里**さん(多賀中1年)……………10  
◎大滝小学校区の地域おこしについて
- **藤野 航平**さん(多賀中2年)……………10  
◎広報等若年層向け工夫について
- **鈴木 優衣**さん(多賀中3年)……………10  
◎活動環境の整備について
- **大町 辿**さん(多賀小6年)……………11  
◎安全な町づくりについて
- **富永 虹悠**さん(大滝小6年)……………11  
◎多賀町の人口増加について
- **曾我 洸至**さん(多賀中1年)……………11  
◎絵馬通りの交通事故対策について
- **夏原 優衣**さん(多賀小6年)……………11  
◎誰もが住みやすい町づくりについて
- **教野 実桜**さん(多賀中2年)……………12  
◎野焼きについて
- **前川 緋里**さん(多賀中3年)……………12  
◎税金について



大滝小6年 川村 彌 さん

### 大滝小学校の存続について

**問** 大滝小学校は、児童数49人で減り続けている。ここ5年で約15人減少、近くに小学校があつてほしいし、人数が少ないから先生も児童一人一人をしっかりと見てくれる。自分が入学、卒業する

大切な思い出の場所なので残ってほしい。少人数だからできるいい給食や、大滝小祭りなどの行事がたくさんある。これからも存続はできるのか、また対策は

により通学申請があれば、教育委員会が承認することで大滝小学校に通学できる。学校が存続するためには子育て世帯の方がたくさん住むような取り組みが必要。

### 広報等若年層向け工夫について

**問** 多賀町では、議会だよりや、広報などがなどでイベントや学校、園の様子、公民館や図書館などのお知らせなどを発行されている。いろいろなことが載っていて読むのが楽しみです。

中には、中学生でも難しい内容や言葉があつたりして理解できない部分もあります。読みやすくわかりやすい解説ページなどがあればもっと知れるのではないのでしょうか。

難しい漢字には振り仮名をつけているが、紙面が限られており解説をつけすぎると読みやすさを損なうことも考えられ、町のホームページに、普段聞き慣れない行政用語などの説明ページを作成できないか検討を進めたいと考えているが、全てを説明することは時間もかかり難しい。



大滝小1年 岸本 唯里 さん

### 大滝小学校の地域おこしについて

**問** 多賀小学校区にはコンビニや住宅街などがあり、大滝小学校区にはありません。バス路線が廃止になった地域もある。このままでは人口減少につながり、生活がますます不便にならないか心配

配している。大滝小学校区の地域活性化や人口増加につながる地域おこしについての計画は

てもおいしいと好評であり、高齢化が進む中、高齢者の世帯や一人暮らしの方に給食弁当、移送サービス、魅力発信の拠点づくりなどの取り組みが提案され、4年度から地域おこし協力隊が中心となり、地域の方も参加されるNPO法人大滝里づくりネットワークと一緒に考え取り組む。

### 活動環境の整備について

**問** 多賀中学校は創立50年を超えており、様々な箇所が老朽化してきている。テニスコートを取り囲むフェンスが昨年雪の重みで壊れ撤去されました。フェンスがないと猿や鹿など野生動物が入る。

隣のハンドボールコートからボールが飛んできて危険を伴いながら活動している。テニスコートだけでなく他にもあり環境整備をお願いします。

フェンスについては、以前と同じフェンスにするか防球ネットにするか現状を見ながら、効果的効果的な対応ができるよう現在検討している。他の壊れた場所の修繕など優先順位をつけながら対応していく。



大滝小6年 小川 悠 さん

### 安全な町づくりについて

**問** 街灯が多く明るい道と、街灯が少なく暗い道がある。どの道も明るく安全な道が良いと思う。また、通学路に歩道がないところが多くある。町が取り組んでいる安全な町づくりについて聞

総務課長 **答** 安全な町づくりについては、町の多くの取り組みの中でも最も大切な取り組みであると思

また会議の関係者が通学路の危ないところを歩いて、安全な通学路にする方法等を考え実行している。道路に歩道のないところや、街灯の少ないところが危ないと感じるところや、低学年の子もたちが通学するのに危ないと感じるところがあれば、保護者や学校の先生に伝え、皆さんと共に安全な町づくりに取り組みしていきたいと思

### 絵馬通りの交通事故対策について

**問** 絵馬通りはここ数年、工事が行われ、椅子などが造られ、広がった道路は狭くなり、自動車、自転車、観光客、通学者等に交通事故が起こらないか心配である。町の安全対策について聞

地域整備課長 **答** 絵馬通りは、平成27年度から令和2年度までの6年間で工事した。その中で、多賀大社横からかぎ楼さんまでの区間、道路の中にベンチやポラードを多数設置した。

整備前は、幅員が広く道路脇に駐車する車が多く、歩行者や自転車の通行の妨げとなっていた。改修後は、道路脇側溝に蓋をし、道路幅を拡幅した上、自動車が走行し



大滝小6年 虹 悠 さん

### 多賀町の人口増加について

**問** 多賀町の人口を増やすための取り組みが見えていないので、具体的な取り組みがあれば知りたい。また、小学生にできることはないか聞

町長 **答** 多賀町は高齢化率が高く、3分の1が65歳以上の高齢者です。このような中、民間事業者による大型（90軒程度）や20〜30軒程度の住宅開発が

中学生までの医療費無料化は、滋賀県で一番取り組んだ。また、乳幼児に紙おむつの支援、放課後児童クラブの充実等、多賀町は子育てに熱心な町と認識されたのかなと思

子どもたちと高齢者が一緒にあって触れ合う施設の建設については、現在計画はないが、既に有効活用すれば、子どもたちと高齢者が触れ合う機会を増やすことは可能だと思



大滝小6年 原 優衣 さん

### 誰もが住みやすい町づくりについて

**問** 手紙でつながろうプロジェクトで、独居老人に手紙を書く取り組みに参加した。とても喜んでくれたようなので、子どもと高齢者が一緒に触れ合う機会を造る計画はないか聞

福祉保健課長 **答** 小学校の皆さんが書いていただいた手紙は、地域の民生委員の方々が、主に一人暮らしの高齢者に届けてくれました。小学生の皆さんからの温かいメッセージが大変喜んでいただけたよう

子どもたちと高齢者が一緒にあって触れ合う施設の建設については、現在計画はないが、既に有効活用すれば、子どもたちと高齢者が触れ合う機会を増やすことは可能だと思



野焼きについて 多賀中2年 野実桜さん

問 一般家庭ではごみを燃やしてはいけないという条例がある。よく稲を刈った秋頃に、農家の人が田んぼで稲わらを燃やしていることがある。これらは例外措置に該当する可能性もあるが、どう考えられているか。



税金について 多賀中3年 前川あかりさん

問 我が家では、ふるさと納税をしている。納税額に合わせて返礼品が届きます。自分が納税したお金の使い道が選べるので、よく考えて納税している。多賀町の税金の使い道について聞きたい。

産業環境課長

答 野焼きは廃棄物の処理や清掃に関する法律で禁止されていますが、田んぼで稲わらを燃やすことやあぜの草を燃やすことは、農業を営むためにはやむを得ない行為として禁止されている野焼きの行為の例外となつている。

ほかに、国や地方公共団体が河川や道路の管理を行うために必要な廃棄物の焼却、災害の予防や災害発生時の応急対策

副町長

答 ふるさと納税制度は平成20年度から始まった制度で、多くの人が自分の育った自治体から、教育や医療などの多くのサービスを受けている。その後、進学や就職で育った自治体を離れ新しい自治体に納税している。自分を育ててくれた自治体に、自分の意志で税金を納めることができる制度として始まった。多賀町では、3年度約1785

万円の納付をいただいた。使い道は、子育て支援、福祉、環境保全事業、小・中学校への教育またはスポーツ、文化の振興に関する事業、産業または観光の振興に関する事業等多岐にわたっている。これらのことから、町民の方が安全で安心して暮らせるには、何が一番必要なかを考え、税金の使い道を考えている。これからも有効な税金の使い方を検討していく。

講評

松居議会議員

子ども議員10名の皆さま、お疲れさまでした。子ども議会の開催に当たり、ご尽力いただきました関係者の方々に厚くお礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の拡大により、3年ぶりの開催となりました。多賀町の未来を担う子どもたちが町の将来について考え、また、地域の課題について、多くの疑問や考えていることを質問したり提案したりすることには大変意義深いことだと思っております。

子ども視点でしか考えつかない質問など、聞いてうれしく、感動しました。これを契機に、議会に関心を持ち、町議会の仕事を少しでも理解いただき、多賀町発展のためにご協力いただきますようお願いし、講評とさせていただきます。



9月定例会

9人が一般質問

町政を問う

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

質問事項

ページ

かみざい く むね ひろ 神細工 宗宏 ..... 14

◎町道202号線「霜ヶ原富之尾線」の整備は  
○避難所、特に体育館の環境は

すがもり てる お 菅森 照雄 ..... 14

◎町道久徳中川原線の交通安全対策は

かわぞえ たけ し 川添 武史 ..... 15

◎大雨による被害への対応は  
○今後の地域包括支援センターの役割と対策は  
○新型コロナウイルス感染者の増加による対応は

こん どう いさむ 近藤 勇 ..... 15

◎転作農地にかかる獣害対策は

やまくち ひさ お 山口 久男 ..... 16

◎インボイス(適格請求書)制度導入の影響は  
○デジタル関連法による個人情報保護条例の改廃は  
○持続可能な林業政策は

きのした しげ き 木下 茂樹 ..... 16

◎肥料費など助成は  
○使用済み乾電池の対応は

かわざし まさ き 川岸 真喜 ..... 17

◎発熱外来の現状は  
○住民情報の管理の現状は  
○こども園開設で使用済み紙おむつの保護者持ち帰りは

おおはし とみぞう 大橋 富造 ..... 17

◎ICTを活用した政策形成は  
○所有者不明土地の現状は

しみず とく こ 清水 登久子 ..... 18

◎子育て中の保護者さんへのケアは  
○「多賀町文化財保存活用地域計画」の進捗と今後は

(注)○印の内容は掲載していません。



## 町道202号線「霜ヶ原富之尾線」の整備は富之尾区側では事業再開の要望は出していない

かみぎい く むねひろ  
神細工 宗宏

町道202号線霜ヶ原と富之尾を結ぶ2級町道ですが、全長約2.1kmの富之尾側の約900mが未舗装のままになっている。

③ 今まで、町道を検討する時に、利便性以外に、環境を意識した考えの有無は

③ 道路整備により利用する車両が増え、事業にかかる費用以上に経済の発展や地域振興により得られる効果が上回ることで、そのことが結果的に温室ガスの排出量や、化石燃料の消費削減につながることもあるかと思いますが、それらが優先されるものではないと考える。

### 地域整備課長

① 平成11年度より工事に着手し、平成16年度までの工事を終え、平成17年度以降は休止している。

全面舗装が完了すれば、災害発生時の迂回路としての機能を発揮できると共に、霜ヶ原地区や上流の佐目・南後谷・大君ヶ畑の方にも、時間短縮や燃費向上などのメリットが出てきます。

① この町道はいつから改修が始まり、いつから現状の状態で停滞しているのか  
② なぜ完全舗装をしないのか、またはできない理由があるのか

② 事業区間が壺地先にさしかかり、用地への協力が得られないことから事業休止の要望が出され、その後、町外業者による大規模な不法投棄や、油の流出事件があった。道路整備が進むことで同様な事案発生の不安から、富之尾区側では事業再開の要望は出ていない。



壺地先

## 大雨による被害への対応は抜本的な排水路計画を進める必要がある



かわぞえ たけし  
川添 武史

① 今年も日本各地で記録的な大雨により、大きな被害が発生している。滋賀県内でも8月には長浜市で、高時川が氾濫し大きな被害が発生した。また、7月には近江八幡市で地下道が冠水し、高齢の女性が溺れ亡くなるという痛ましい事故が発生した。

③ 道路整備により利用する車両が増え、事業にかかる費用以上に経済の発展や地域振興により得られる効果が上回ることで、そのことが結果的に温室ガスの排出量や、化石燃料の消費削減につながることもあるかと思いますが、それらが優先されるものではないと考える。

### 町長

③ 指摘の場所は、多賀大社前駅の北側と福祉会館信号付近、その下の町道との交差点、融雪水の井戸がある付近と認識している。

③ 道路整備により利用する車両が増え、事業にかかる費用以上に経済の発展や地域振興により得られる効果が上回ることで、そのことが結果的に温室ガスの排出量や、化石燃料の消費削減につながることもあるかと思いますが、それらが優先されるものではないと考える。

その後、関係者が現地

## 町道久徳中川原線の交通安全対策は事故多発地点の標識など危険ゾーンの周知



もり てるお  
菅 森 照雄

町道久徳中川原線は、平成27年3月に供用開始され、朝夕の通勤時間帯のみならず多くの方が利用されている。交通量の増大により交通事故も多発している。今日まで16件の人身事故が発生。うち13件が月の木大橋南詰め交差点で発生。示談物損事故として処理された件数を合わせると、約3倍と言われている。死亡事故になってもおかしくない事故も目撃している。一旦停止の標識はあるものの、止まらずに通る車もあり、主な事故原因として出会い頭の事故と言われている。尊い人命が奪われる前に対策が必要と考える。

① 出会い頭の事故が多いことは認識している。久徳多賀線と久徳中川原線ともに2車線道路で、直進方向の見通しが良く、交差点に気付かず通過するのではないかと推察する。



月之木大橋南詰め交差点

① 事故状況の把握  
② 対策は考えているか



## 転作農地にかかる獣害対策は駆除業務再開9月中を目途に

こんどう いさむ  
近藤 勇

4年6月議会において質問した獣害対策について再度質問する。

サルについては、多数駆除をいただいた結果、ある程度被害は減少したように思われる。

① 今後のシカの駆除ならびに時期について  
② シカの獣道と思われる

① 有害鳥獣駆除業務実施中は、少なくとも例年300頭以上のシカを捕獲していた。しかし、業務停止中にシカの生息数が増加し、農作物への被害が拡大していると思われる。

② 湖東土木事務所は対応できない。今年度は、上流部の河川内の樹木伐採を実施していただく予定である。



捕獲檻





## インボイス(適格請求書)制度導入の影響は 消費税の納付義務が発生

山口 久男

来年10月から導入が予定されているインボイス制度が問題になっている。中小零細事業者ではまだまだ準備が進んでない。インボイスに登録して課税業者になると、多額の消費税の負担が発生する。これらのことから、国に対し、制度の中止、凍結延期を求めることから以下の5点について質問する。

- 問 ① 町内小規模事業者への影響とインボイス制度導入についての認識は
- ② シルバー人材センターの運営および会員への影響は
- ③ シルバー人材センターの運営費の支援は

④ シルバー人材センターへの町からの委託業務への影響は

⑤ 町事業における取引事業者の関係について、仕入れ税額控除の適用を受けるための対応は

副町長

答 ① 1年の売り上げが1000万円以下の小規模事業者は、基本消費税は免除されている。1000万円超えの売り上げがある事業者については、今までと同様である。しかし、インボイス(適格請求書)を発行する事業者になると、今まで免除されていた消費税の納付義務が発生し、議員質問のとおり「新たな負担が増える」ことにつながるという意味だと思ふ。

② シルバーの会員へ支払われる配分金には、消費税を利益として受け入れているのが実態のようだ。インボイス制度へ移行した場合には、消費税を控除することから、実質金は減ることとなる。

③ 運営費の支援については、現在も、一定補助金を(4年1000万円)を交付しており、影響を緩和するための措置としての補助金増額については、考えていない。

④⑤ 必要な業務は、今まで通り発注先としての審査を行いながら発注を行う予定である。

## 発熱外来の現状は 圏域4病院で開設



川岸 真喜

問 ① 発熱外来を開設している病院はどこか

② 一日の受診枠は何人

③ 病院によってなぜ受診に条件が設けられているのか

答 ① コロナの第7波は、9月中旬頃から感染者は次第に減少してきましたが、発熱外来は予約制で、電話が繋がらないことが多い。また、受付開始から10分程度で予約枠が埋まりPCR検査にたどり着けないケースが多い。発熱外来の受診条件が「37.5度以上で抗原検査が陽性であること」を条件にしているために、門前払いもあると聞いている。

また、抗原キットの入手も難しいと聞きます。

② 1病院では一日固定の受診枠を決めて実施されていきました。後の3病院は発熱外来で一日の診察や検査ができる枠については、その日の診察事情や従事できる医師などの配置によって変動が出てくるとの回答でした。

③ 感染の状況や診療体制により、その受診条件は変わってきているようです。一方、軽度の方や検査目的での受診が増えると、本来治療が必要な患者さんの診察が遅れることになるため、無症状の方や軽度の方については、状況によっては医師の判断で、診察や検査を断られる場合もある。



確保が望まれる検査キット

福祉保健課長

答 ① 彦根市立病院、友仁山崎病院、彦根中央病院、豊郷病院の4病院。

## 肥料費など助成は 前年度から増加した肥料費の7割を支援



木下 茂樹

令和の新しい時代に、急速に伸びてきたこの「ICT」というワードは、情報伝達技術を意味するもので地域課題の解決に役立ち、やり方を変え私たちの生活や職場を大きく変えてきました。もちろん自治体の仕事には、やり方を変え政策的にも大きな影響を与えています。

新型コロナウイルス感染の影響で、米飯の消費減少から米価下落と、ロシアのウクライナ侵攻などから地下資源の高騰と円安が重なり、肥料価格は前年比1.4倍以上、上昇している。

国内の穀物価格は、国でコントロールされコストに価格転嫁出来ない宿命から、農業経営は非常に厳しくなっている。

当町は中山間地域で、将来の農政に与える影響が大きいことから、独自の上乗せ補助金が必要で、今年度は、町独自の米生産の正規流通に対し、500円/30kgの助成金、農業用大型特殊免許取得助成金、担い手・営農組合の農業機械購入補助金など、町独自の助成・補助金に農業者は感謝しておりますが、刻々と変動する状況変化に一層の対応をお願いする次第です。

問 ① 農業資材、肥料、農薬と燃油高騰の最新情報は

② 水稲耕作の更なる補助金増額は

産業環境課長

答 ① 農業生産資材価格指数は8.5%上昇となっている。

無機質の単肥は27%、高度化成36%、除草剤7%、ビニールハウス資材8%、軽油においては12%の前年同月上昇となっている。

② 補助額は10ha当りの必要肥料を試算し、平均化して算出する。

来年春季は、情勢変化に伴い高騰している状況から、来年度までの購入肥料に対し、前年度比増加額の7割を国が支援する制度となっている。



## ICTを活用した政策形成は 学習意欲は高まっている



大橋 富造

令和の新しい時代に、急速に伸びてきたこの「ICT」というワードは、情報伝達技術を意味するもので地域課題の解決に役立ち、やり方を変え私たちの生活や職場を大きく変えてきました。もちろん自治体の仕事には、やり方を変え政策的にも大きな影響を与えています。

① 第6次多賀町総合計画での行政運営において、デジタル化による行政の効率化を基本方針に掲げ、情報の一元化、事務の効率化を図る取り組みを進めています。

内部的にはロゴチャットシステムを導入し、職員間の情報伝達、情報の履歴を残すことで正確な業務の引継ぎ、共有化を図りAI「人口知能」を活用して手書きの書面を自動読み込みの電子化、会議の音声記録の自動化システムを導入し事務の効率化を図っている。

② 行政運営の基本は、「目で見てお話しする」「人と人とのつながりを実感すること、学習の充実ができています。

学校教育課長

③ 学習でタブレットPCを利用しながらの勉強には多くの子どもが捉わられており、タブレットの活用意欲は高い。

④ 学校の教員の情報共有や時間短縮の一環として「ムーブノート」というソフトウェアを活用することで、児童・生徒の意見の集約を短時間で行うことができ、その分、話し合い活動の時間を確保することで、学習の充実ができています。



清水と登久子

# 子育て中の保護者へのケアは ガイドラインに沿って取り組み中

2019年には、「母子保健法の一部を改正する法律」が成立し、この「産後ケア事業」が市町村の努力義務とされました。

① このような国の動きや状況の中、産後ケアの取り組み状況は  
② 町内にはケアをするための宿泊できる施設は  
③ 親子がどこに住んでいても、手厚い支援を受けられるように、今年度中に自治体向けに指針を策定されるが現状は  
④ 1歳未満の赤ちゃんの人数を把握しているか

### 福祉保健課長

① 平成30年度から「産後ケア事業」として、家族などから産後の十分な援助を受けることができず、育児への支援が必要とする者が心身を安定させ、育児に対する不安を解消し、安心して子育てができるように、宿泊



② 既に始まっており、産前・産後サポート事業ガイドラインおよび産後ケア事業ガイドラインに沿って取り組み中、さらに7年3月までに産後ケア事業は全国展開をめざすこととされている。  
③ 町内の1歳未満の乳児は、9月1日現在で51名です。

## 意見交換会

### 意見交換会①

6月28日午前10時から、役場3階第一委員会室において「身体障害者更生会」の皆さんと、意見交換会を開催しました。



### どのような会ですか

町内の会員は身体障害者手帳を持つ方が会員で、親睦を図るため、歩行訓練を兼ねてバスにて研修旅行を行ったり、グラウンドゴルフ・ボッチャ等のスポーツ活動を行っています。また、ボランティア活動や地域活動にも

### 多賀町身体障害者更生会

参加しています。  
防災の現状と今後の方針について

2018年に初めて防災訓練に参加、また2021年8月の大雨警報の時は、ふれあいの郷に避難しました。

### 障害者差別解消法の取り組みについて

体験から意見として要介護の避難所受け入れには、介護人同伴でないは無理であると思いましたが、今後他の避難所の体験学習や、災害訓練の実施を望みます。

### 要介護者の意見が述べられる場づくりを

ふれあいの郷改修、中央公民館「多賀結いの森」、第2放課後児童クラブなどが建設されましたが、中央公民館「多賀結いの森」では障がい者駐車場の設置位置が出入口から遠い場所に設けられてい

現在はコロナ感染症予防対策などの対応で大変かと思いますが、今一度更なる取り組みをお願いいたします。  
障がい者や健常者が共に住みやすい町をめざし取り組んでいます。  
また、人権研修を年1回、年明けに外部講師を招き実施している。

### 意見交換会③

7月21日午後2時から、役場3階第一委員会室において「YOBISHIPROプロジェクト」の皆さんと、意見交換会を開催しました。

よびしとは、親戚や近所さんを招きおもてなしをする湖東地方の方言。



### YOBISHIPROプロジェクトのルーツは

新公民館設立を考える「多賀語ろう会」から生まれたのが始まり。

### 公民館がうまく活用されておらず、規則がありすぎるのでは

杉の子さんのカフェ、YOBISHIPROのカフェができると思っていましたが、中心となる食部会は蓋を開けてみたら、あれもダメこれもダメ、販売のフリーマーケットもダメと使い勝手が悪いと思う。

情報発信に向けて町外から多賀へ移住しても若者にはわかりにくい、また発信が弱い。特に空き家の活用情報など若い世代には不親切では所管の担当部署へ伝えさせていただきます。  
よびし通信のチラシが時々入りますが、事務局はどこに

### YOBISHIPROプロジェクト

7/21

### 意見交換会②

7月15日午後1時30分から、役場3階第一委員会室において「民生委員児童委員協議会」の皆さんと、意見交換会を開催しました。

### 何が一番の課題ですか

個人情報保護の法律により個人の守秘義務化の中で個人情報あまり入っていないため、転入、転出などがわからないことも多く訪問後になってわかることが多い。

高齢化の中で、一人での住まいをされている家庭も多くなり、安否確認などコロナ禍の中では難しい事も多く、情報の把握で悩む所が多い。

### 命のバトンについては

ひとり暮らしの方や、75歳以上の家庭に対し、民生委員が必要だと感じ

### 多賀区は災害時の要支援者の調査をされていると聞きますが

多賀区は人口も増え、高齢者の異動もあり、なかなか把握が難しい。ここでも個人情報の問題もある。シルバー人材センターで高齢者へ配食サービスなどからの情報は民生委員には入っていない。

### 出てきた意見、課題、要望など書面に書ききれないため大枠のみ記載します

① 緊急通報システム。  
② 1人の受け持つ地域を2つ、3つ兼務は活動が難しく把握できない点。  
③ 通学路の安全対策・谷田団地の歩道。  
④ 障がい者に対する支援・買い物弱者対策、通院問題など多くの課題を意見交換した。

## 意見交換会



# 山間地域の活性化

# 地域おこし協力隊の活動紹介 No.2

## 給食弁当

毎月2回販売している『おおたき給食弁当』は、おかげさまで毎回百食前後の注文をいただいています。ありがたい事です。

最近ではお弁当に使う野菜を、多賀町内の農家さんから直接仕入れるようにしています。新鮮で美味しい野菜を、お弁当という形で地域の方が料理し、地域の方が味わう。



大学生も調理に参加

このような地産地消ができるのは、とてもすてきなことだと感じています。

お弁当づくりだけでなく、野菜の提供にお手伝いいただける方も募集しています。興味のある方は役場企画課までご連絡いただければと思います。



彩りも考えた献立づくり

## おおたきものづくりラボ活動

8月から実施している『おおたきものづくりラボ』は、小・中・高校生向けのイベントです。

レーザーカッターやレーザープリンターなどの技術を使って、安全に楽しくものづくりを行います。



レーザープリンター

第1回目は絵馬とお菓子づくり、第2回目はしやもじづくりを行いました。お昼ご飯もみんなで作って一緒に食べます。



干菓子づくり

スタッフもたくさんいるので、イベントの合間に外で遊んだり、トランプをしたり、宿題を教えたりして交流することもできます。

今年度は、毎月第4日

曜日にイベントをする予定です。実施内容は、小・中学校に配布するチラシでお知らせしています。

今旧営林所の改装をNPO法人として、環境省からの補助金200万円を活用して行っています。玄関横にカフェ等を楽しめる、テラスをつくっています。これからも進化する活動拠点にご期待ください。

この活動拠点の「名前」を募集しています。役場企画課までお願いします。



営林組合改装

地域おこし協力隊

朝比奈 遙

## 議会を傍聴してみませんか？

議員や行政は、どんなまちづくりを考えているのか、直接、見て、聞くことができます。ぜひお越しください。

### 12月定例会の予定

12月 2日(金) | 9:30~ 定例会開会

・町長が町政報告と議案提案を行う。

12月 6日(火) | 9:30~ 一般質問

12月 7日(水) | 9:30~ 一般質問

・議員が町政について質問します。

12月20日(火) | 13:30~ 定例会閉会

・初日に提案された議案を採決します。

※日程は、変更になる場合があります。



※座席は21席あります。(コロナ対策で制限する場合があります)

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響で、「子ども議会」が3年ぶりに、7月29日に開催されました。子どもの目線から、各議員の鋭い質問、再質問もあり、新鮮に映りました。

特に、学校内や日頃から見て感じる問題から、町づくりに至るまで、正面から取り組んでおられ、立派な議会となりました。

多賀町議会では、各種団体等との意見交換会を開催し、現状の問題点や要望を聞き取り、議会として反映できるように務めています。

今回、議員定数削減を可決し、スリムで質の高い議会をめざしていきます。わかりやすく、開かれた議会に向け、一層の改革に取り組んでいきますので、皆さんの声をお聞かせください。

木下 茂樹 記